

報道関係各位

2025年1月22日  
株式会社クロス・マーケティング

## 「火事の不安は自分ごと」と考える人が52% 「火元の確認」と「使用後の確実な消火」で火の用心

－火の用心に関する調査（2025年）－

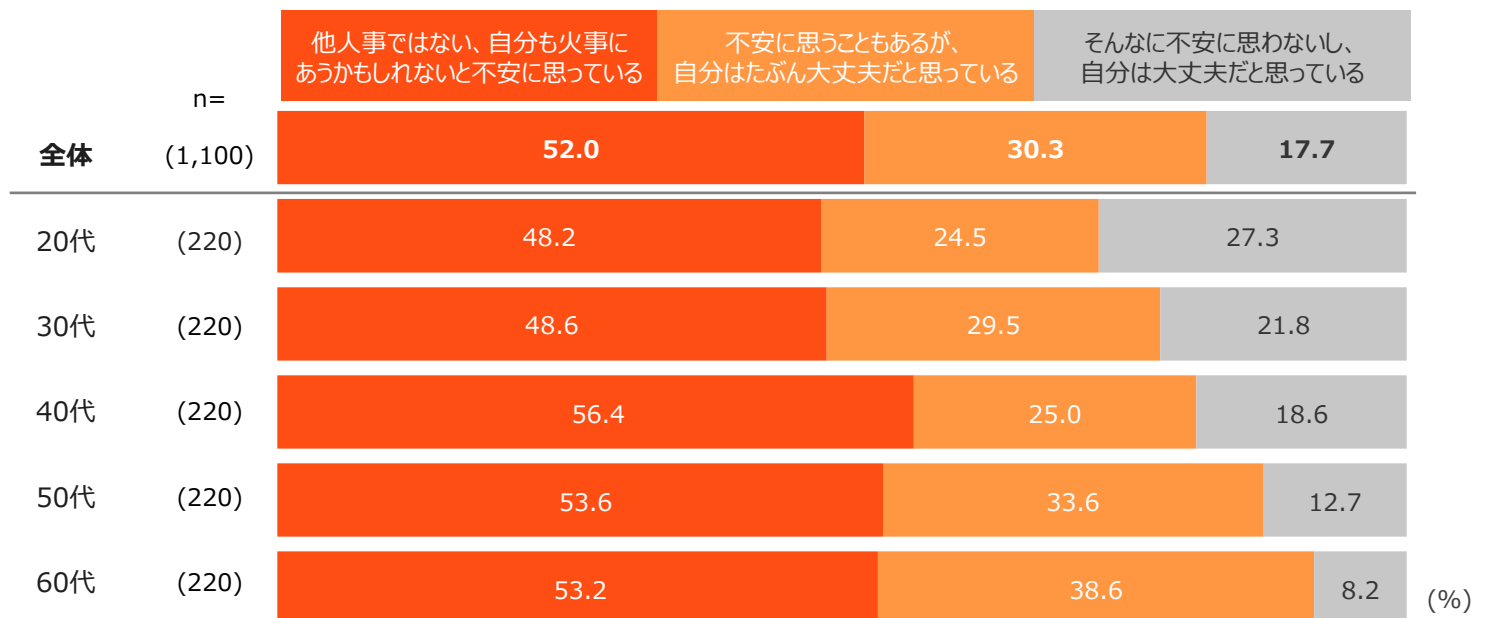
株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国20歳～69歳の男女を対象に「火の用心に関する調査（2025年）」を実施しました。空気が乾燥した日が続く、乾燥注意報が発表されることも多くなりました。今回は「火事に対する考え」「火事への備え」「火が発生する不安・危険を感じる場所」「火事を防ぐために実施していること」「住宅火災のヒヤリハット」について聴取しました。

◆調査結果の続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/trend-eye/20250122fire>

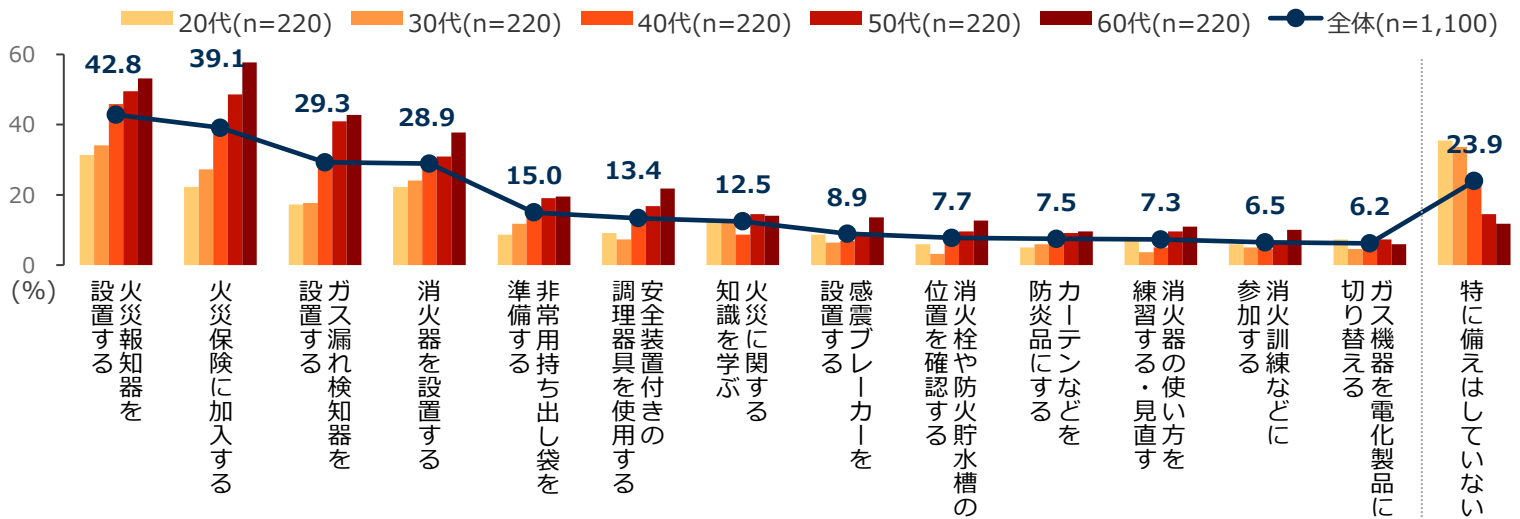
### ■ 調査結果

- ✓ 「他人事ではない、自分も火事にあうかもしれないと不安に思っている」人は52.0%。  
「そんなに不安に思わないし、自分は大丈夫だと思っている」人は、若年層ほど多い。〈図1〉
- ✓ 火事への備えは、「火災報知器を設置する」「火災保険に加入する」が4割前後、「ガス漏れ検知器を設置する」「消火器を設置する」が約3割。  
「特に備えはしていない」は、20代・30代で3割を超える。〈図2〉
- ✓ 火が発生する不安・危険を感じる場所は、「長時間挿しっぱなしになっているコンセント」が45.7%で最も多く、「キッチンのコンロの周辺」「大型家電の裏側にあるコンセント」「暖房器具の周辺」が続く。〈図3〉
- ✓ 火事を防ぐために日ごろから実施していることは、「就寝前や外出前に火元を確認する」「コンロやストーブなどの使用後は確実に消火する」などが4割台で、火元の確認を注意している人が多い。〈図4〉
- ✓ 住宅火災のヒヤリハットとして、日常的な調理や暖房器具の使用中に起きた事例があげられ、経験を踏まえて対策を講じている様子もうかがえた。〈図5〉

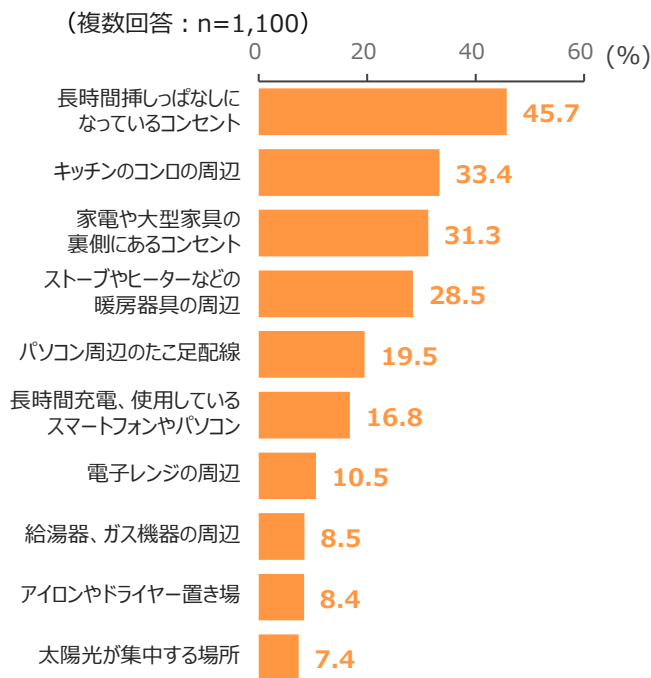
〈図1〉 火事に対する考え（単一回答）



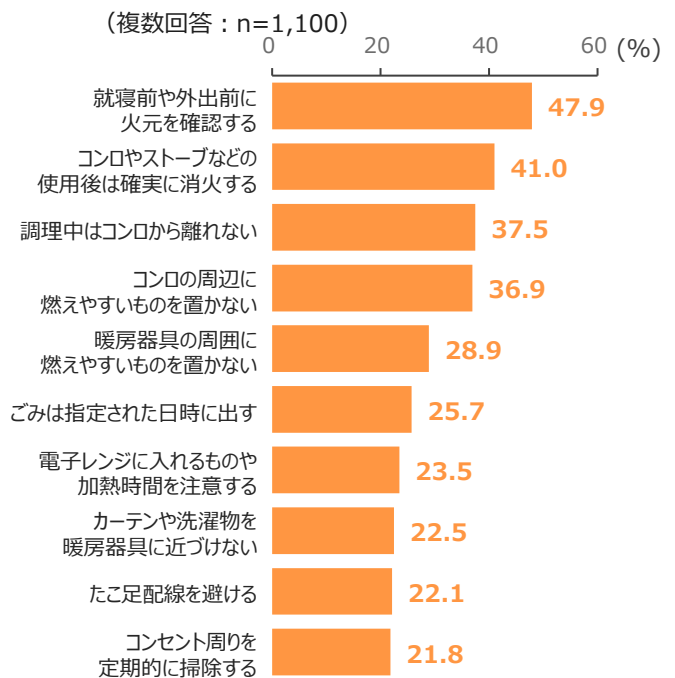
<図2> 火事への備え (複数回答)



<図3> 火事が発生する不安・危険を感じる場所 TOP10 (複数回答 : n=1,100)



<図4> 火事を防ぐために実施していること TOP10 (複数回答 : n=1,100)



<図5> 住宅火災のヒヤリハット (自由回答一部抜粋)

**キッチン周りからの出火**

- 調理中鍋に油を入れて熱したところ、鍋から火が出た。ガスを止め、特に何もしなかったら火が消えたので良かったが、もし火が広がっていたらと思うと怖い。(女性30代)
- コンロに鍋をかけたまま忘れてしまい、火災報知器が反応し鳴り出した。鍋が少し焦げただけで済んだ。(女性60代)
- ガスコンロの近くにたまたまキッチンペーパーが置いてあって、火がついて流しで鎮火した。(女性30代)

**電子レンジによる過加熱**

- 電子レンジで焼き芋を作っていたところ、必要以上の時間、温めてしまい焼き芋が黒こげに。家の中が煙で充満した。(女性40代)

**コンセントからの出火**

- 家で飼っていた猫がコードでじゃれて、何年も使っていて劣化したためか、コードとプラグの付け根から火が出た。私が家にいたので、すぐ火を消せたが、外出していたら本当に火事になっていた。(女性50代)
- 電子レンジを繋いでいるコンセントが劣化して、レンジ使用中に火花が出た。すぐに使用を中止して、新しいコンセントに付け替えた。(女性30代)

**暖房器具のトラブル**

- 石油ストーブをつけたまま出かけたことがあった。ストーブの石油が無くなって火は小さくなり、不完全燃焼をしていた。空気を入れ替えるのに苦労した。(男性50代)
- ハロゲンヒーターのそばに置いていたクッションがヒーターに触れていて、一部が焦げてしまった。自分がそばにいて、臭いで気付いたので大事に至らなかった。(男性50代)

## ■ 調査項目

- 属性設問
- 火事に対する考え
- 火事への備え
- 火事が発生する不安・危険を感じる場所
- 火事を防ぐために実施していること
- 住宅火災のヒヤリハット

◆クロス集計表のダウンロードはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/trend-eye/20250122fire>

## ■ 調査概要

- 調査手法 : インターネットリサーチ (クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用)
- 調査地域 : 全国47都道府県
- 調査対象 : 20～69歳の男女
- 調査期間 : 2025年1月17日 (金) ～19日 (日)
- 有効回答数 : 本調査1,100サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

## 【会社概要】

- 会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
- 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
- 設立 : 2003年4月1日
- 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
- 事業内容 : マーケティングリサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルティング

## ◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275  
E-mail : [pr-cm@cross-m.co.jp](mailto:pr-cm@cross-m.co.jp)

## «引用・転載時のクレジット表記のお願い»

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。  
<例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」